

湘南カフェテリア

この紙面は、地域の組合員が作成しています。

2019年8月26日
 発行：湘南エリア
 問合せ：エリア活動課
 電話 045-470-6863
 (月～金 10:00～17:00)

砂金が採れたよ！



JA 新みやぎ初夏の交流 (旧 JA みどりの)



7月6日から一泊二日で JA 新みやぎ初夏の産地交流に行ってきました。今回は、小さいお子さんがたくさん参加してくださいました。田んぼに着き生き物観察、草むしりの前に「塩おにぎり」のおやつが出ました。移動のバスの中で「おかしを食べたい！」と言っていた子どもしょうがなくという感じで食べ始めてはいました。しかし、田んぼで食べるおにぎりが、予想以上においしかったらしく、おかわりをしている姿に感動しました。「ひとめぼれ」のおいしさを参加者のみなさんに味わっていただけたようで、翌日の朝食のごはんのおひつがからになったのは、驚きでした。生産者のお母様たちに炊き方の秘訣を聞いたところ、ガス釜で炊いてるとのことでした。ぜひみなさんも「ひとめぼれ」を一度ガス炊き（土鍋でも大丈夫です）で召し上がってみてはいかがでしょうか？他にも「砂金採り」「蛍観察」など楽しい素敵な体験と、子どもたちの笑顔盛りだくさんの産地交流でした。次の交流は、いよいよ秋の稲刈り・収穫です！それまで「稲」が順調に育ちますように。(T)



湘南エリアの交流産地「JA 新みやぎ」は、当組合と20年以上にわたり、農作業体験をはじめさまざまな交流を行っています。

2017年12月には JA 新みやぎみどり地区管内を含む「大崎耕土」が世界農業遺産に認定されました。



「大崎耕土」は、厳しい自然環境下で食料と生計を維持するため、上流の水を「堰」「隧道」「潜穴」で農地に取り入れ活用したり、水の不足する下流域は「反復水利用」や「ため池」で補給したりと「水」の調整に様々な知恵や工夫、多くの苦労を重ねながら、稲作を中心とした水田農業を発展させてきました。また、遊水地による洪水被害の減災にも取り組んでいます。



取水堰



明治潜穴



反復水利用

「水資源の活用」以外に、生活の拠点には「居久根(イグネ)」と呼ばれる屋敷林があります。

居久根の特徴として、主に3つの<知恵>があります。

<減災の知恵>洪水による流木や強風から守る。

<自給の知恵>薬草や身近な野菜などが生活を支える。

<営農の知恵>トンボやカエルなどの水稻害虫などの土着天敵を育む。



自然豊かな土地で作られる農作物をぜひ実感してみてください。(A)

世界農業遺産

世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域（農林水産業システム）を、国際連合食糧農業機関(FAO)が認定する制度です。



6月「ABパック」回収のお知らせ

年度	事業所	5月	6月
2018	藤沢	33.3%	36.3%
	全体	32.9%	35.6%
2019	藤沢	26.5%	29.3%
	全体	23.8%	26.2%

回収のご協力
 お願いします♪

